

初めて部下と接する「上司」の準備と心構え はじめての部下指導・育成研修

研修のねらい

- 自分のタイプを知り、部下の指導・育成に役立てます。
- 部下の成長を促すために必要な支援の方法を理解します。
- 部下のやる気を高めるためのコミュニケーションスキルを習得します。

「初めて部下をもつ」ということは、自分だけの成長・成果をめざしていた「職員」から、部下の成長を支援しながら、課・係としての成果をめざさなければならない「監督職」に変わったことを意味しています。しかし、自分と部下は異なる人間であり、今まで自分の培ってきた方法や考えと同じやり方で、部下も同じように成長したり、成果を出したりするとは限りません。

この研修では、これまでの自分を振り返り、指導・育成者として留意すべきポイントと、必要なスキルを学びます。また、仕事の基本構造を確認し、部下の仕事の管理に役立てます。仕事の成果に結び付く叱り方、褒め方、フィードバックの仕方を学ぶことで、初めて部下を持つ職員の役割遂行を支援します。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

1日コース

午前	<p>1. 監督職の役割</p> <p>(1) マネジメント概論 (2) リーダーシップのタイプ (3) 監督職の役割 (4) 自分の特性を知る</p> <p style="text-align: center;">◇ グループ演習 ◇</p>	<p>2. 指導・育成の手法</p> <p>(1) 人間に対する前提 (2) 指導・育成の考え方と技術 (3) 効果的な部下の指導・育成方法 (4) 成長機会とは (5) リフレクション(振り返り)を支援する</p> <p style="text-align: center;">◇ グループ演習 ◇</p>
	午後	<p>3. 指導・育成のためのコミュニケーション</p> <p>(1) 能力開発を促すコミュニケーション (2) やる気を高めるコミュニケーション (3) フィードバックの方法</p> <p style="text-align: center;">◇ グループ演習 ◇</p>
5. まとめ		